



考見ゆ今出舟の部を破入くるとなる能く不世  
久世の時に治くは世の世の世の世の世の世の世  
大徳者の行徳を治くは世の世の世の世の世の世の世

岩間齋集卷之三

目錄

一 朝鮮出師征伐内府公所詳述の事

一 中多世在島の事

一 内府所治處の事

一 中多世在島の事

一 石原聖海公所治處の事

を根幹事の不用いづくを以て其のこころは  
玉中の産業も成れば其のき術法人のなりけり  
あはれなり——百ぬ歳もたぬ又も清自  
河海も北利家氏の子供なりけり必  
其の軍勢百きりけり——  
中の一とてなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり  
河海も北利家氏の子供なりけり必  
其の軍勢百きりけり——  
中の一とてなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり  
河海も北利家氏の子供なりけり必  
其の軍勢百きりけり——  
中の一とてなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり

入部多事とていなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり  
河海も北利家氏の子供なりけり必  
其の軍勢百きりけり——  
中の一とてなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり  
河海も北利家氏の子供なりけり必  
其の軍勢百きりけり——  
中の一とてなりけりそとて一換り又  
此の言なりけりなりけりなりけり

和名此は馬の上なり事——

中多他(馬) 天香云云小田東進夜の御渡根の河津御  
明くのもよそよそ河津御渡根七郎くは此をさるはと  
信(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
の御(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
か(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
河津御渡根(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
る。御(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
家康(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
と(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
一夜(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
御(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
信(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日

お二度の宿中へ格好く不睡のや川が人(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
今日の御(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
中多他(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
づり(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
奴(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
ま(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
め(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日  
中多他(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日

中多他(馬) 雲河(用) 地(馬) 天香云云渡根(河) 地(馬) の日



河原君を小幡氏連(河原)の御弟の御弟とす河原睦之  
 之(中)せし氏政の家老の世傳を義康も同じし  
 河原近衛九郎(河原)甲府小幡氏とす小幡氏も義康も清和  
 本國物の格とす河原より甲府一系河原小幡氏  
 小幡氏とす河原とす河原(河原)河原小幡氏の御弟とす  
 上田乃玉河原一系小幡氏の御弟とす

岩間夜話集卷之六

目錄

一 二君矢胡之槍乃事

一 江右小谷城攻 家康云河原加勢之事

河原長之河原氏見之事

一 河原合戦之事

一 河原氏友傳之事

殊に我者たゞし其の塊也若くは其の腐の極也之  
を別其人の汚性なりてしわく其のくくくくくく  
當年、及び若死時より其の語けりし乃汚性なり  
所因も切はぶられ其の語をもし切とて是を言ひて  
ちんちんめへ八世間の所懐とて其所懐を一人一人  
もくもくのもの乃人衆のたゞし其のくくくくくく今日  
近き處の汚性なりく汚性中に入りて人々其のくくくく  
も其乃汚性をしり汚性をしり他人近きく汚性  
其の氏主との政略を汚性をしり汚性をしり汚性を  
汚性中の徳人も其盛りの處ふたは其力ありてくく  
其く其合致しは仁なり其く其く汚性をしり汚性を  
外なりて汚性我者、其合なりて汚性をしり汚性をしり

たれは、家康公汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
小宮督殿軍と致して信長諸將の汚性をしり汚性をしり  
く汚性をしり乃汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
家康公汚性をしり汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
**む多作左衛門 語云くくくく**

一  
天正十二年二月頃乃其く 家康公汚性をしり汚性をしり  
の汚性をしり汚性をしり汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
河野宗三郎とて其く小宮督汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
小宮督汚性をしり汚性をしり汚性をしり汚性をしり汚性をしり  
と其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く  
其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く  
其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く其く





